シモジマ | 7482

Sponsored Research
2026年11月10日

Sessa Investment Research

2027/3期通期の連結業績予想、配当予想を上方修正

Q2 Flash

サマリー

シモジマ(以下、同社)は11月10日引け後に2027/3期Q2の決算を発表した。連結売上高は前年同期比16.6%増の35,799百万円となり、中間期の売上高として過去最高を更新した。連結営業利益は同131.1%増の3,138百万円、経常利益は同111.2%増の3,294百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は同118.4%増の2,296百万円となった。中東情勢不安により化成品類に対する市場ニーズが高まり、同社ではそれに対応すべく、できる限りの商品供給を続けた一方で、原材料高に対応する価格転嫁を実施したことにより、大幅な増収増益となった。

こうした状況を踏まえ、同社は2027/3期通期の連結業績予想および配当予想を上方修正した（期初予想および修正後の数値は下表参照）。

■ 販売部門別概要

営業販売部門は、既製品の主力商品の拡販と特注品の受注活動に注力した。また化成品類を中心に需要が拡大したことで、連結売上高は同17.8%増の26,410百万円となった。

店舗販売部門は、CRMを活用した新規開拓および既存深耕活動に注力。値上げ前の仮需の影響はあったものの、店舗外商活動量を増やしたことにより新規受注が増え、連結売上高は同4.4%増の5,876百万円となった。

通信販売部門は、「シモジマオンラインショップ」において、新規会員獲得の進捗や既存会員の稼働向上、機動的な価格改定の実施等により、売上高が堅調に推移。中東情勢の余波に伴う一部商品の品切れや取扱商品の見直しが生じたが、顧客基盤の維持・強化に注力し、連結売上高は同32.2%増の3,513百万円となった。

■ 商品セグメント別概要

紙製品事業は、特に食品用袋の需要が堅調であったことにより、連結売上高は同7.4%増の5,198百万円となった。

化成品・包装資材事業は、食品包装資材を中心に売上高は好調に推移した。また市場環境に合わせタイムリーに商品改廃と新商品開発にも取り組んだ結果、連結売上高は同20.3%増の22,961百万円となった。

店舗用品事業は、中東情勢不安から医療・衛生の分野で必需品となるニトリル手袋等の衛生用品の需要が増加、連結売上高は同12.7%増の7,639百万円となった。

（百万円、%、円）	売上高	YoY	営業利益	YoY	経常利益	YoY	当期利益	YoY	EPS	DPS
FY2024/3	57,794	5.0	3,262	62.2	3,623	51.7	2,372	53.8	101.74	51.00
FY2025/3	60,680	5.0	2,986	-8.5	3,303	-8.8	2,088	-12.0	89.42	54.00
FY2026/3	64,829	6.8	3,456	15.7	3,869	17.1	2,738	31.1	117.12	59.00
FY2027/3 期初予想	**66,000**	1.8	**3,700**	7.0	**4,000**	3.4	**2,600**	-5.1	**111.16**	**59.00**
〃 修正後	**68,500**	5.7	**4,500**	30.2	**4,800**	24.1	**3,100**	13.2	**132.34**	**66.00**
FY2026/3 Q2	30,707	4.9	1,357	27.5	1,560	32.3	1,051	28.0	45.00	27.00
FY2027/3 Q2	35,799	16.6	3,138	131.1	3,294	111.2	2,296	118.4	98.11	33.00

出所：同社決算説明資料よりSIR作成
注：SIRでの財務データ処理は短信規定と異なるため記載数字は会社資料と相違することがある。

アナリスト　大下 敬勇
research@sessapartners.co.jp

本レポートは当該企業からの委託を受けてSESSAパートナーズが作成しました。詳しくは巻末のディスクレーマーをご覧下さい。

ディスクレーマー／免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したものですが、その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や分析は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。

SESSAパートナーズ株式会社

東京都港区麻布十番2-8-14 i-o Azabu 5a
info@sessapartners.co.jp